

『HA-WBGT（熱中症暑さ指数周知システム）』は 安心・手軽なシステムで安全を提供します！

屋内も！



屋外も！



注意喚起
で安全！

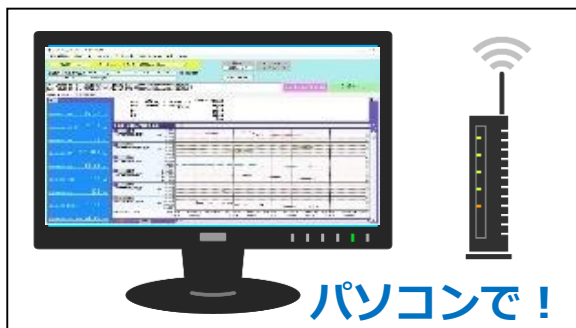


エアコンの無い体育館や工場・倉庫などの屋内、工事現場や屋外グラウンドなど熱中症の危険性の高い様々な場所で本システムの設置が可能です。

設置は
おまかせ
で手軽！



モニタリングが必要な場所に計測ユニットを設置



パソコンで！

目で見て
安心！

危険な
場合に
発報！



室外表示機による暑さ指数表示警報表示、パトライトによる発報も可能！（オプション）

サーバ

スマホで！



お持ちのスマホ・タブレットで確認可能
熱中症の危険性が高い場合はアラート通報

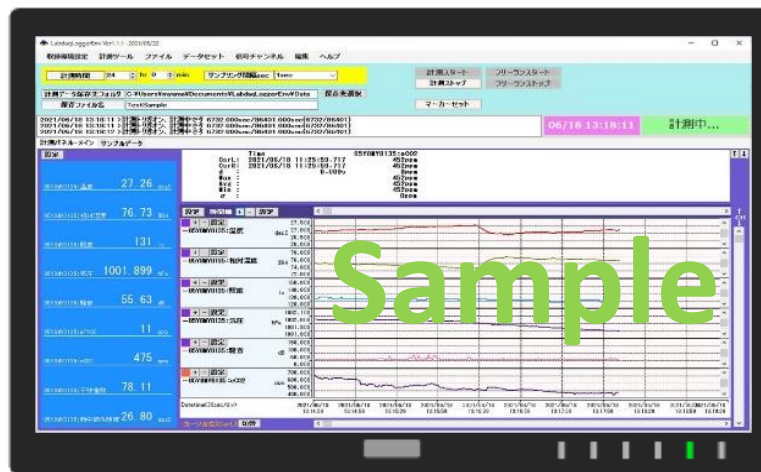
HA-WBGT(熱中症暑さ指数周知システム)は計測ユニットを設置した場所の温度/相対湿度/黒球温度を測定します。これらの測定された情報はサーバを経由し、お客様のお持ちのパソコンやスマホ・タブレットで確認する事が可能です。また熱中症の危険性が高い場合は、アラートを通知し（無料機能）、オプションにて室外表示機やパトライトによるアナウンスが可能です。

スマホアプリ専用画面例



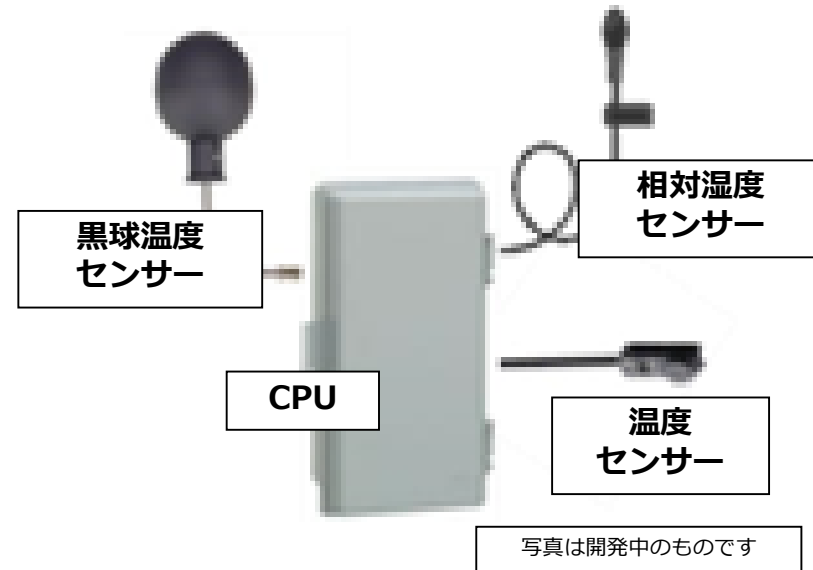
画面は開発中のものです

パソコン用監視画面例



画面はサンプルのものです

標準計測ユニット



計測ユニット製品仕様

表示項目	WBGT（熱中症指数）、温度、相対湿度、黒球温度
測定項目	温度、相対湿度、黒球温度
JIS B 7922精度区分	クラス2
WBGT（熱中症指数）	測定範囲0～50℃（表示範囲-2～52℃、最小表示0.1℃）
温度	測定範囲0～50℃（表示範囲-2～52℃、最小表示0.1℃） 測定精度±0.5℃（20.0～50.0℃）、±1℃（0.0～19.9℃）
相対湿度	測定範囲20～90%RH（表示範囲0.1～99.9RH、最小表示0.1%RH） 測定精度±5%RH（30～90.0%RH）、±10%RH（0.0～29.9%RH）
黒球温度	測定範囲0～80℃（表示範囲-2～82℃、最小表示0.1℃） 測定精度±0.5℃（20.0～60.0℃）、±1℃（0.0～19.9℃、60.1～80.0℃）
動作環境（使用範囲）	温度0～50℃、相対湿度0～90%RH（但し結露しないこと）
黒球	外径φ55mm、厚さ1.8mm、材質 耐熱ABS、放射率0.94
WBGT指数のAL設定範囲	20～50℃、5段階出力（ほぼ安全・注意・警戒・嚴重注意・運動は原則中止）
計測ユニット電源（※1）	AC100V、3.7V 10000mAh／約1ヶ月
寸法	計測器本体 158mm（W）×264mm（H）×103mm（D）
付属品	取扱説明書

ご参考

運動に関する指針

環境省 熱中症予防情報サイトより引用

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	嚴重警戒 (激しい運動は禁止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険性が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

株式会社ユアサデンキ

千葉県千葉市花見川区天戸町1333-2
TEL:043-305-4709

製品の情報は
こちらからも
ご覧頂けます



[ホームページのトップページへ戻る](#)